

静岡英和女学院創立 130 周年全校修養会に寄せて  
～建学の精神に立ち戻る～

静岡英和女学院  
中学校・高等学校  
校長 吉田幸一



未来に向けて 輝き続ける

130<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN

1887年（明治20）11月14日に届け出た静岡女学校設置伺には「本校は<sup>いりん</sup>彝倫道德ヲ本トシ普通学科ヲ教授シ兼テ英語欧米礼節手工等ヲ授ケ優良ナル貴女ヲ養成スルヲ以テ目的トス」とその設立目的が謳われおり、爾来<sup>じらい</sup>130年この西草深の地において、女子教育の先駆的な学校としての歴史と伝統を紡いできました。

この130年は、世界史的にみても女性の平等権と自由権をはじめとする人権侵害、差別、抑圧や疎外などの女性問題を解消してきた歴史でもあります。1789年のフランス革命以後に採択されたフランス人権宣言においても男性にのみ権利が付与され、権利の主体が女性にはなかったために、欧州各地で女性の権利を求める運動が起こり、フェミニズムとして浸透していきます。19世紀半ばになると女性参政権を求める運動となり1893年にはニュージーランドで女性参政権が認められ、20世紀にはアメリカをはじめとして多くの国でも女性参政権が認められるようになりました。教育においても、様々な理由から男性と同じように女性が教育を受ける権利が十分に認められていない国や地域が今日でも存在します。誰しものが平等に教育を受ける権利を有する社会であることを望みます。

静岡英和女学院の前身である静岡女学校は、東京帝国大学（現東京大学）に改称された翌年の1887年に設立されており、「日本女性の教養を高めるためには女子教育が必要である」との建学の精神は、当時の日本にとっては画期的な考え方ではなかったでしょうか。この女子教育の先駆的な学び舎の歴史に想いを馳せ、良き伝統のもとで学べる恵みに感謝しましょう。この学院で学ぶ者、教育を受ける者にとって、寧静致遠<sup>ii</sup>の姿勢で、次世代の130年に歩みを進めましょう。

So he answered and said, ' You shall love the Lord your God with all your heart, with all your soul, with all your strength, and with all your mind, ' and ' your neighbor as yourself. ' ” (LUKE 10. 27)

彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」（ルカによる福音書10章27節）

<sup>i</sup> 彝倫（いりん）とは、人が常に守るべき道、人倫（じんりん：人として守るべき道）。

<sup>ii</sup> 寧静致遠（ねいせいちえん）とは、誠実でこつこつと努力を続けないと、遠くにある目的に到達することができない。（出展は中国の古典『諸葛孔明伝』）